

# 第27回 小児神経筋疾患懇話会開催のお知らせ

平成22年8月21日(土) 13:00~17:25

東京ステーションコンファレンス 5F 501(東京駅隣接)

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー TEL 03-6888-8080 FAX 03-6888-8062

世話人代表: 自治医科大学 小児科 杉江 秀夫

会費: 1,000円

日本小児神経学会専門医研修単位として出席2単位が認められています

## テーマ **Treatable Neuromuscular Disease: Update**

### プログラム

13:00-13:05 **開会の辞** 自治医科大学 小児科 杉江 秀夫 先生

13:05-14:50 **第1部 「代謝性ミオパチーの診断・治療:update」**  
発表35分(質疑含む)

#### 「脂肪蓄積ミオパチー」

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部  
西野 一三 先生

「ミトコンドリアミオパチー 特にMELASの病態とL-アルギニン療法」  
久留米大学医学部 小児科 古賀 靖敏 先生

#### 「グリコーゲン蓄積ミオパチー」

自治医科大学 小児科 福田 冬季子 先生

14:50-15:05 休憩(15分)

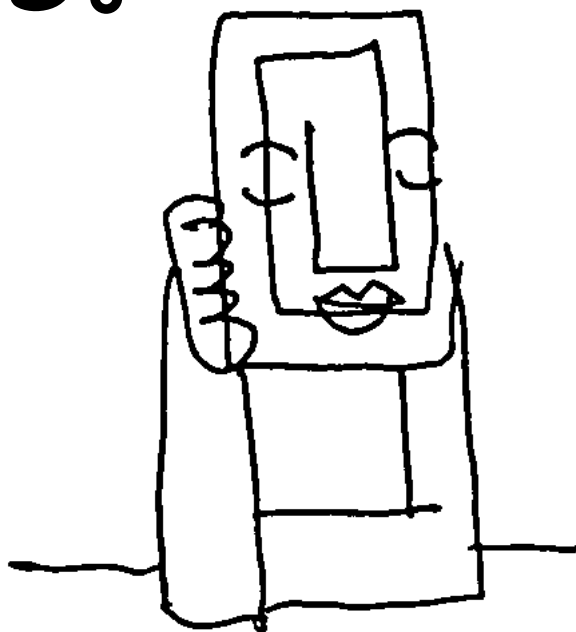
15:05-16:05 **第2部 「推薦演題」**  
「平成22年度日本小児神経学会から優秀演題を選択」  
(4演題予定、15分×4)

16:05-16:20 休憩(15分)

16:20-17:20 **第3部 「特別講演」**  
「炎症性末梢神経疾患:GBS/CIDPの診断と治療update」  
名古屋大学医学部 神経内科 飯島 正博 先生

17:20-17:25 **閉会の辞** 自治医科大学 小児科 杉江 秀夫 先生

たとえば、  
ナイチンゲールだったら  
どうするだろう、  
と考えてみる。



彼女の直筆の文字を使ったこのマークを見るたびに、いつも、自分たちに問いかけています。

自ら志願し、クリミア戦争で傷ついた戦士たちの  
看護に向かったナイチンゲール。怪我や病氣  
で苦しんでいる人たちは、何をしてほしいのか。  
それが、彼女の行動のすべての出発点だったの  
だと思います。治療する側の発想だけではなく、



ベッドの上にいる人の視線で医療を見つめること。  
病氣と闘う人の不安な気持ち、少しでも良くなり  
たいという切実な思いを、真っ直ぐに見つめる  
こと。「ヒューマン・ヘルスケア」。私たちエーザイの  
スローガンには、そんな思いが込められています。

※hhcの文字は、フローレンス・ナイチンゲール(1820~1910)の直筆サインから取り出したものです。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

<http://www.eisai.co.jp>